

平成 2 2 年第 2 回定例会一般質問

質 問 者	質 問 事 項 及 び 要 旨	質 問 の 相 手
岩 坪 義 光	<p>人工透析器の導入について</p> <p>透析患者の場合、退院そのものが社会復帰となるものではなく、透析を続けるために通院することが社会復帰に向けての第一段階となります。一生涯、透析療法を続けねばならないことによって起こる社会生活上の時間的、身体的制限や拘束であります。それは何があっても、どんな状況下でも決められた日に必ず受けなくてはならない上、終わりがありません。その間、食事や水分の制限からも逃れられないなど、たまらないストレスです。小値賀町は離島であるため、時化などのときは前日から泊り込みで無理して行くなど、またアパートを借りて、そこから通院しているのが現状であります。経済的負担も大きいです。透析患者さん達が小値賀で透析が出来れば助かるとの声も上がっています。患者の生活環境の低下を防ぎ、患者と家族の生活変化を最小限にとどめるためにも、透析器の導入を重要視していく必要があると思うが、町長の考えを伺う。</p>	町 長
	<p>北松中体連の今後について</p> <p>昨年は小値賀町、佐々町、江迎町、鹿町町の4町であったが、今年3月に江迎町、鹿町町が佐世保市へ合併して北松浦郡は佐々町・小値賀町の2町になり、中体連が5月30日、北松・佐々町で開催されました。その様子が6月5日の長崎新聞に載っており、参加校は佐々中・小値賀中2校で、12競技中、6競技がチーム不足で実施できなかった。このままでは参加選手が減少し、競技力も低下していく。かといって打開策もない。大会関係者の悩みは深いと、また審判の一人は、こんな寂しい雰囲気では笛を吹くのは初めてなど、書かれておりました。中体連は子どもたちの成長の機会でもあるし、練習の成果を発揮する晴れの舞台でもあるはずで、この中体連について今後どのように取り組んでいくのか教育長に伺う。</p>	教 育 長

宮 崎 良 保	<p>観光事業における環境整備について</p> <p>観光を目指す本町の環境整備について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 笛吹本通りの JA 及び郵便局前に設置している観光案内のゲートについて、掲示されている写真等が古く見にくくなっているが、改修及び写真等の張替えの計画はないのか伺う。 2. 姫の松原の雑草等の徹底した整備について伺う。 3. 柿の浜海水浴場へ行く坂道が竹等により通りにくいし、監視台奥の広場を整備する考えはないか伺う。 4. 旧野首天主堂へ上がる石段が侵食等により危険な状態である。整備の考えはないか伺う。 5. 五両の駐車場の整備について伺う。 6. 塩工場付近の廃材が腐食し、危険な状態である。また、景観にとっても見苦しいが、塩工場の再起動する可能性が低い現在の状況で撤去する考えはないか伺う。 	町 長
	<p>小値賀町における口蹄疫の対応策について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 口蹄疫を防ぐ対応策について今まで県や町、或いは関係団体との間にどのような話し合いが持たれているのか伺う。 2. 近隣の他町で発生した場合、本町の対応策は考えているのか伺う。 3. 伝染病に対するマニュアル策定の必要性について伺う。 	町 長
立 石 隆 教	<p>豊かな小値賀の海を取り戻す作戦と町民の協力について</p> <p>本町は磯焼け対策に取り組んで久しいが、藻場の再生にはほど遠い現状である。しかし、磯焼けの原因は未だ明確ではないものの、藻の再生を阻害する要因は幾つか分かってきている。本町の場合、再生を阻んでいる食害という要素を取り除くための思い切った作戦が必要である。</p> <p>小値賀は古より特に海の豊かな恵みを享受してきた。小値賀の豊かな海という財産を後世にバトンタッチするために、全町民を上げてこの難題に取り組むべきだと考える。役場や関係団体だけでは限界があるので、町民の協力を得て、有効な具体的な再生へ向けた「豊かな小値賀の海を取り戻す運動」としての視点が必要ではないかと思う。現在、考えられる具体策と町民の協力に対する考え方を伺う。</p>	町 長

立石隆教	久々の本県選出の農林水産大臣誕生について 第一次産業中心の本町において、農林水産省は第一次産業の関係諸官庁として大きな存在である。この度、本県選出の山田正彦衆議院議員が農林水産大臣に就任された。就任に際しての町長の感想と期待のほどを伺う。	町長
------	---	----